令和6年度 第1回太田市子ども・子育て会議 会議摘録

○ 日 時 令和6年6月5日（水）午後2時から午後3時20分まで

○ 場 所 太田市役所3階 大会議室

○ 出席者

【委員（名簿順）】11名

小山雅史委員、福島馨委員、澁澤英男委員、小池哲也委員、中村一夫委員、
笹川純美代委員、本間正彦委員、飯塚史彦委員、落合みどり委員、懸川武史委員、
齋藤寛之委員

【事務局】18名

○ 概 要

1 開 会

2 委嘱状交付

3 挨拶

（事務局）

- ・今年度は、第三期太田市子ども・子育て支援事業計画の策定年度のため、年間5回の会議を予定している。委員の皆様には、それぞれの立場からご意見をいただきたい。
- ・本市では、子育て支援策として、昨年度から、保育園、幼稚園等における第一子からの給食費の助成を開始し、保護者の経済的な負担軽減を図っている。
- ・今年度からは、保育園等に通う0-1歳の子どもに、園で使用するおむつの給付事業を開始した。保育士の負担軽減を図るとともに、保育環境の向上に繋がるような施策を展開している。引き続き、子育てしやすいまちづくりに努めていく。

4 委員自己紹介、事務局紹介

5 議事

（1）子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査の報告について

（事務局より議事資料説明）

- ・令和2年3月に策定した、「第二期太田市子ども・子育て支援事業計画」の終期が令和6年度であることから、令和7年度を始期とする「第三期太田市子ども・子育て支援事業計画」を新たに策定する。これに伴い、市民の皆様の子育て環境や教育・保育の利用状況、及び利用希望、ご意見などを把握するために、ニーズ調査を実施した。
- ・就学前児童の保護者3,000人（就園児2,500人、未就園児500人）を無作為抽出して対象者とし、約80%の回答があった。調査内容は、子育て環境、教育・保育事業の利用状況、子育て事業の利用状況や利用希望などである。

議 長：何か質問や意見はありますか。

事 務 局：事前に委員より質問を受けておりますので回答させていただきます。

事前質問：ニーズ調査の結果に基づき、事業計画を策定していると思うが、計画に対する結果や実績は公表されるのか。

事 務 局：事業計画に対する結果や実績は、毎年、子ども・子育て会議にてご説明させていただいており、太田市のホームページにも会議資料として掲載させていただいております。

事前質問：前回のニーズ調査と比べて、質問の追加・削除・修正などがあるか。

事 務 局：前回のニーズ調査では、問 25 において「ショートステイ事業を利用しましたか」という実績を確認する設問でしたが、今回のニーズ調査では、「ショートステイ事業の利用希望について記入してください」という利用希望を確認する設問へ修正を行いました。これは、こども家庭庁より示された「第三期市町村子ども・子育て支援事業計画等における量の見込みの算出等の考え方」に沿った修正となり、利用実績の調査から利用希望の調査へ内容の修正をおこないました。また、問 31 以降の「太田市の子育て支援事業について」の設問については、現在の太田市の施策に沿って「給食費の OTACO での助成」等に修正を行いました。また、問 31 以降については、太田市独自の設問となっております。

事前質問：ニーズ調査の対象者が就学前児童の保護者ですが、小学生保護者の調査をしないのはなぜですか。

事 務 局：小学生については、プラッツや学童などの利用実績について、市で確認が可能であることから、未就学児の保護者に対してニーズ調査を行いました。

事前質問：住まい地区について、前は世良田地区でしたが、今回はありませんでした。なぜですか。

事 務 局：現在の地区名は、尾島地区と世良田地区が統合され、「尾島地区」となっているためです。

事前質問：小学生の放課後の過ごし方について、こどもプラッツと学童保育は別の項目にした方がよいのではないか。

事 務 局：太田市では、こどもプラッツと学童保育は、ほぼ同等の運用としているため、同じ項目に含めたものとなります。

事前質問：太田市の支援施策はお子さんをもうけることに影響しましたか、の質問の回答結果はどう感じますか。

事 務 局：物価高騰の中で、太田市が行っている子育て支援策が半数近くの保護者に対して、影響を与えていると考えております。

事前質問：こども誰でも通園制度が創設された場合の利用希望の有無の質問を追加してもよかったのではないかと。

事務局：今回のニーズ調査の実施段階において、こども誰でも通園制度の内容について未確定であったため実施しませんでした。次回の調査に向けて、検討していきたいと考えています。事前質問への回答は以上です。

議長：委員の皆様からのご意見・ご質問等お願いいたします。

委員：小学生の放課後の過ごし方は、どのような形で保護者から把握していますか。

事務局：こどもプラッツや児童館の利用ニーズについて、市では把握をしています。小学生の保護者に調査をすることは可能ですが、今回の調査では、未就学児の保護者の方を対象に調査を行いました。

委員：小学生の保護者の方向けのニーズ調査の実施が可能であれば、子育てをしやすい環境に近づけるために、未就学児だけでなく、広い範囲での子育てニーズを数字として捉えることにより、子どもを持つ保護者の方々にとって、子育てしやすい太田市に繋がっていくのではないかと考えています。

事務局：小学生の保護者の方の調査については、今後考えていきたいと思えます。

委員：子育て支援センターを利用している方に向けても調査を行った方が良いのではないかと。

事務局：保育園や認定こども園等の就園児の保護者のほかに、未就園児の保護者にも調査を行っております。調査結果に「子育て支援センターを利用している」との回答があり、この方が未就園児の保護者に当てはまると思えます。この方々に、どのようなサービスの利用希望があるかということ、深掘りして調査できても良かったと考えていますので、今後検討していきたいと思えます。

議長：何か質問や意見はありますか。なければ次の議事に移ります。

(2) 第三期太田市子ども・子育て支援事業計画骨子案について

(事務局より議事資料説明)

- ・子ども・子育て支援事業計画は、国の子ども・子育て支援法により、自治体が策定するもの。
- ・5年を期間とする計画となっており、今回策定する計画は第三期計画になる。
- ・計画に掲載する事項としては、教育・保育提供区域の設定、各年度における教育・保育のニーズ、教育・保育の提供体制、子ども・子育て支援事業の要望、地域子育て支援事業の提供体制など。
- ・計画を策定する上で計画の見出しを記載した、計画の構成案を提示するもの。

議 長：何か質問や意見はありますか。

事務局：事前に委員より質問を受けておりますので回答させていただきます。

事前質問：計画を立てるうえで、全て達成できれば良いですが、およそどれくらいの達成率を考えていますか。

事務局：計画策定に関しましては、「達成する」として計画しております。実績として計画を上回る場合や計画に満たない場合があると思いますが、計画を策定する際に設定する目標については達成する考えでおります。

事前質問：骨子案で「安全な道路交通環境の整備」とありますが、5年間で完了できる整備計画を作成し、実行しているのでしょうか。

事務局：担当課に確認したところ、継続的に実施している事業のうち、「太田市次世代育成支援行動計画」に該当する項目を目標とさせて頂いておりますので、この計画のために、5年で完了できる道路整備計画を作成し、実行しているということではございません。との回答がございました。事前質問への回答は以上です。

議 長：委員の皆様からのご意見・ご質問等お願いいたします。

議 長：事務局から、報告等ありますか。

事務局：今年度の会議は、あと4回を予定しております。時期については、8月、10月、来年1月、2月を予定しています。よろしく願いいたします。

6 閉会

事務局：本日はご出席いただきありがとうございました。事前にいただいた質問・意見や本日いただいたご意見をもとに、今後の計画策定、並びに子ども・子育て施策の充実を図ってまいります。1年間よろしく願いいたします。それでは以上をもちまして、令和6年度第1回太田市子ども・子育て会議を閉会させていただきます。本日は大変ありがとうございました。